

これからの茅葺き民家を考える

持続可能性に通じる価値が注目される茅葺き民家について、国内外の新しい取り組み状況などを学びます。また、「川打家住宅」（国指定重要文化財）を有する多久市において、茅葺き民家が点在する実情について情報共有を行います。これらを踏まえ、多久や北部九州の茅葺き、地域に根ざした建築のあり方、文化や景観の保全・継承の方策について、建築士、茅葺き職人、まちづくり関係者および専門家とともに意見交換し、今後の可能性を考えます。

2025. 1.26 (日)

13:30~16:30 (開場 13:00)

会場：多久市西溪公園 寒鶯亭 (佐賀県多久市多久町 1975)

駐車場：西溪公園前無料駐車場

参加費無料・定員 80 名

事前申込制として①氏名②メールアドレス③所属を添えて

1 月 24 日 (金) までに下記の【参加申し込みフォームリンク・QR コード】より申し込みください。

* 当日参加は空席がある場合にのみ可とします。

(1) 基調講演

茅葺きの継承と新潮流

安藤邦廣 (筑波大学名誉教授・日本茅葺き文化協会代表理事)

(2) パネルディスカッション：多久および北部九州の茅葺き民家の可能性

パネリスト

北島智美 (一般社団法人 柳川暮らしつぐ会 代表)

飯田政樹 (多久市ふるさと情報館「幡船の里」地域おこし協力隊)

稲次あゆみ (茅葺き職人)

田代美都香 (佐賀大学理工学部建築環境デザインコース 大学生)

コメンテーター：安藤邦廣 (前掲)・上野弥智代 (日本茅葺き文化協会 事務局長)

進行：後藤隆太郎 (佐賀大学理工学部都市工学部門)

司会：江島文 (地域文化財研究室まちのつぎて 代表)

淵上貴由樹 (佐賀大学理工学部都市工学部門)

会場：寒鶯亭 (かんおうてい) について

今回の会場となる寒鶯亭は、「佐賀県遺産」および国指定登録有形文化財に登録された大正期の公会堂建築です。



会場情報 (Google Map)

主催：日本建築学会九州支部佐賀支所 (佐賀の木・家・まちづくり協議会)
佐賀大学理工学部都市工学部門地域生活空間学研究室
NPO法人 地域文化財研究室まちのつぎて

後援：多久市教育委員会、佐賀県 (まちづくり課)

* 関連企画：1 月 26 日 (日) 10:00~12:00 に「元禄の絵地図とともに歩く城下町茅葺き民家ツアー」を開催します。定員 10 名 (先着順)、シンポジウム申込時に「ツアー参加希望」と明記ください。

* 本企画は TSUNAGI プロジェクト「さかの建築・景観資源の調査と活用支援」(代表 後藤隆太郎) に関連する取り組みです。また、当日会場内にて佐賀大学写真部有志による作品展示を行います。

【参加申し込み：フォームリンク・QR コード】

<https://forms.office.com/r/QxSrjS10Q>



【お問い合わせ先】 takukayabuki1@gmail.com (事務局担当：戸田)